（本號い面）　（郵便物認可）　明治二十六年九月廿一日　（定價金二錢五厘）

時事新報

時事新報は全國中、紙面の最も廣き新聞紙なり

第三千七百六十六號
明治廿六年九月廿一日　木曜日
舊暦癸巳八月十二日（辛酉）
（西暦一千八百九十三年）

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價郵送料は左の如し

一號　貳錢五厘〇一ヶ月　前金五拾錢〇三ヶ月　前金壹圓四拾五錢〇六ヶ月　前金貳圓八拾五錢〇一ヶ年　前金五圓六拾錢〇月曜日休刊（此他大祭祝日年始年末等一切休刊セズ）

時事新報郵送料

一　日本國内並に朝鮮國京城、仁川、鎮山、元山津　一ヶ月　金拾三錢

二　南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を經て郵送する歐洲各國　一ヶ月　金六拾錢

三　北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸嶋　一ヶ月　金三拾錢

四　香港を經て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸嶋、濠洲　一ヶ月　金六拾五錢

五　露領浦潮斯德、清國諸港　一ヶ月　金三拾五錢

時事新報廣告料（廣告）

	一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢	五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を揭ぐるみと寡からず獨り時事新報は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんみことを請ふ

時事新報社に達したる投書の原稿は凡て寄稿者に返戻せず又本社に保存せず

時事新報

利子補給問題

近來金融緩慢の聲と共に各種の事業を企るもの所々に現はるゝは勢の然らしむる所にして我輩も傍より其成就を願ふに切なれども不思議なる哉その計畫は率ね獨立自營にあらずして動もすれば國庫に向ひ利子の補給を冀望するもの多きが如し十數年前までは政府の民業を保護するみと厚くして資本なきものには資本を與へ役員に乏しければ役員を授けて養育介抱甚さゝる所なかりしが其結果は毎に思はしからざりしより保護と云へる文字は人をして一種異樣の感を起さしめ事の當否を問はず一概に非難せられて或る種類の二三を除くの外殆んど休止中絶の姿となりしに時勢の變遷、世に對外立國の論など行はれ國家進歩の爲めには民業も漫に自然の發達を俟つ可きにあらず國家は宜しく公益の爲めに其成長を助く可しとて恰も保護再燃の勢を釀せしかば衝利に敏捷なる商人の慧眼は早くも機會を見て取り擬ふる新事業とし云へば同時に利益の保護を期するみとならん歟、みの邊より察すれば近來の企業は金融緩慢資本豐富の結果にあらずして寧ろ企業家が政海の風潮に乘じて巧に爲す所あらんとするの餘波なるに似たり此有樣にて進行せば遂に各種の企業家の間に利子補給の競爭を起し隨て之を可否左右す可き國會議員の間に運動を試るみと彼の鐵道比較線の例の如くに して又隨て運動の巧拙により補助を得べきものにして得ず、得可らざるものにして却て得るの奇觀なしとも言ふ可らず政商の評判漸く盛なるの折柄聊か憂念の次第なれば我輩は眼中敢て各企業家の私事内情を見ず唯民業保護の大體に就き江湖の注意を乞はんとする者なり

今日の狀態は洵に保護再燃の姿ありと雖も迫に從前の如く直接に資本の貸與を請ふ者はなくして皆利子補給の名義を利用するみとなれば請ふ者も青天白日憚る所なく許す者も亦從來鐵道會社等が利子補給の法により て隆盛に赴きたるの實例もあるみとなれば稍や安心を托するが如くなれども利子補給とても資本貸與と共に往々その弊を同ふするを免れざるものにして彼も不安心なれば是も亦不安心なるを知らざる可らず泰西の學說に民業保護は利益補充に止む可しと云ふ我輩も一概に民業保護を非難せず國家の利益を標準として着々事業を助成するは國民の任務なりと認る者なれども其保護の方法に至りては嚴密至極にして苟も濫用に流るゝなきの注意みを專一なれ事業の種類により之を監督するにも難易あり之を助成するにも手心あり漫に公益の爲めなりとて直ちに利益補充の法を適用するときは當業者として必ずしも德義の制裁に束縛せらるゝ者にあらず或は補充の特典あるを名として世間を瞞着し贋て補充の期限畢らんとするに臨めば又も延期を請求し政府も亦今更ふれを中絶せしむるに忍びずとて又も補足に補足を重ね其極何の効蹟もなくして徒に一部當業者の懷を温むるに過ぎざるもの古今東西その例珍しからず當に其事に益なきのみならず世間一般の企業心を沮喪せしめて自然の發達を妨るものと云ふ可し

頃日利子補給を期望して其聲最も高きものは製鐵所の一事なるが如し此事は前内閣の設計に基き且つ鐵道敷設法により今後鐵軌の入用も莫大なれば其支給を外國に仰ぐは遺憾なりとて旁々規模を大にして新設を企て其收支計算に十二箇年の間は損失を免れざれば其間の利子補給を請はんとするよし而して其十二箇年とは何の見込によるものなるやと尋ねば唯本邦に始めての事業なればといふのみ、始めての事業と云ひ十一箇年と云ひ實に漠然たる談にして若しも其期限の後に至り猶も見込相立たずとあらば其始末を如何せんとするか又も補足に補足を重ねるは徒に困難を大ならしむるに過ぎず既往の經驗に照らしても世論の許さゝる所なり然りと雖も我輩は製鐵業に對して國家は毫も頓着するを要せずといふにあらず例ば航海業を奬勵するに其航海の哩數を算して幾干の補助金を與ふるなどの筆法に基き製鐵にしていよ〳〵奬勵す可きものならば何れの製鐵所を問はず一噸の製出に付幾干の奬勵金を與ふるが如きは實際に無病の策なる可し斯の如くすれば監督の方法も易く特典の及ぶ所も亦偏頗の嫌を免るゝのみならず既に計算上に於て大製鐵所は引合はず却て小製鐵所に利あるみと我國今日の實況なれば大製鐵所に對して大失策を取らんよりは小製鐵所に就て小成効を積み以て漸次他日の發達進歩を期するみと正に順序の宜しきを得たるものなれ徒に性急にして蹉跌を取るは我輩の與せざる所なり

聞く所によれば製鐵所に對する利子補給の問題は政黨間にも贊成を表するもの少なからずして當業家がいよいよ協力運動するに於ては或は通過を見んも知る可らずと云ふ贊成者の意は果して何れの邊に在るや測り難けれども我輩は其人々が保護の方法に就て眞實充分の研究を悉したるや否やは頗る疑なき能はず先年政府が製茶會社の資本五十萬圓の内二十萬圓を貸與せんとせしとき我輩は其資本保護の不可なるを咎め寧ろ製茶の輸出斤高に應じて其損失を補充し若しも輸出先にて賣却するみと能はずして再び本國へ持歸るときは補充金を返納せしむる樣の仕組とも爲さば稍や妥當ならんと勸告せしも其說行はれずして計畫の歩を進むる中に會社の議員はずして間もなく貸與金を引上げられたるみとあり是れは政府にても條件付にて貸與の約束をなしたるが故に斯く二十萬圓を無事に保ち得たるみとなれども今度の利益補充の約束の如き一旦決する上は復た前日の例に從て容易に始末するみとも難く其影響も亦實に淺からざる可し況や製茶會社の事と雖も尚ほ失態の譏を免れざるに於てをや故に我輩は製鐵の事業に就て精細の調査を遂ぐ可きは勿論その之を保護するの方法に就ても充分に研究し帝國議會開設以來民業保護の効果は從前の政府の比にあらざるを示して江湖の喝采を博せんみと敢て議員諸氏に望む者なり

雜報

○退職判事の意氣込　憲法第五十八條第二項には藏判官は刑法の宣告又は懲戒の處分に由るの外其の職を免ぜらるゝみとなしとありて此憲章を擁保せる裁判所構成法第七十四條には判事身體若くは精神の衰弱に因り職務を執るみと能はざるに至りたるときは司法大臣は控訴院又は大審院の總會の決議に依り之に退職を命ずるみとを得と定めたり然るに近頃判事の退職を命ぜらるゝもの多く中には構成法の明文に該當せざる人々まで此命に接するのみならず其手續たる大審院若くは控訴院の總會を開かずして直に此命を發するに至りたる事さへあるよし現に此程退職を命ぜられたる前安濃津地方裁判所長久保秀景氏の如きは大に之を慨し法文の保障する處あるに拘はらず相當の手續を經ずして此命令に接するの謂れなし左れば自分の退職は一身の爲めに毫末の遺憾なしとするも憲法國法官の通義として其黑白を輿論に訴へ進んで第五議會に本問題を提出するの意氣込なりと云へり

○地價修正派委員の意見　第五期議會には政府より單獨問題として地價修正案を提出せしめんが爲めに各府縣の委員は此程來上京し各大臣を訪問し熱心に其意見を述べ居るよしなるが萬一此希望の達せずして今度の議會にも前期と同樣修正案に關聯する處の增稅案を提出するが如きみとあらば已むなく消極的の方針を執りて之に反對するより外なかるべし就ては臨機の運動を要するを以て來る十一月一日を期して同盟府縣より代議士と同盟するが如きみとの上大に運動を試るよし只々多人數を上京せしめんとの議なりと

○地價修正派　委員は一昨夜芝烏丸氏の邸に會し歸國する人もあるべく一昨夜着京したるものも多くあり大抵の人々は今日道懇親會に列席す

○防穀事件賠償　拔て辨核官の一行は此時は大石公使の委員は一昨夜芝烏丸氏の邸に會し歸國する人もあるべく一昨夜着京したるものも多くあり大抵の人々は今日道懇親會に列席す

○防穀事件賠償　拔て辨核官の一行は此時は大石公使の委員は一昨夜芝烏丸氏の邸に會し歸國する人もあるべく一昨夜着京したるものも多くあり大抵の人々は今日道懇親會に列席す

○地價修正派　委員は一昨夜芝烏丸氏の邸に會し歸國する人もあるべく一昨夜着京したるものも多くあり大抵の人々は今日道懇親會に列席す

○地價修正派　委員は一昨夜芝烏丸氏の邸に會し歸國する人もあるべく一昨夜着京したるものも多くあり大抵の人々は今日道懇親會に列席す

○地價修正派　委員は一昨夜芝烏丸氏の邸に會し歸國する人もあるべく一昨夜着京したるものも多くあり大抵の人々は今日道懇親會に列席す

○地價修正派　委員は一昨夜芝烏丸氏の邸に會し歸國する人もあるべく一昨夜着京したるものも多くあり大抵の人々は今日道懇親會に列席す

○地價修正派　委員は一昨夜芝烏丸氏の邸に會し歸國する人もあるべく一昨夜着京したるものも多くあり大抵の人々は今日道懇親會に列席す

○地價修正派　委員は一昨夜芝烏丸氏の邸に會し歸國する人もあるべく一昨夜着京したるものも多くあり大抵の人々は今日道懇親會に列席す

○地價修正派　委員は一昨夜芝烏丸氏の邸に會し歸國する人もあるべく一昨夜着京したるものも多くあり大抵の人々は今日道懇親會に列席す